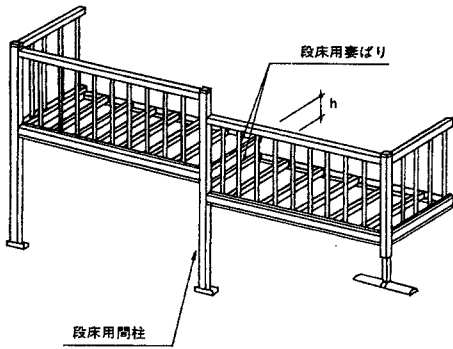


バルコニー快晴7型 段床納まり

取説番号 NM-1034



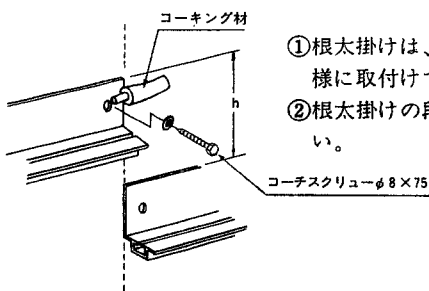
- 段差 h は $110\text{mm} \leq h \leq 300\text{mm}$ の範囲で御使用下さい。
- 段差が $h > 205\text{mm}$ となりましたら、段床用妻ばり上下のすき間をパネル等を使用して、必ず隠す様にして下さい。
- デッキ材は通常の規格の拾い出しよりも1サイズ大きいサイズを使用して下さい。
- 部品箱は、連結部品箱のかわりに標準部品箱を1つ多く拾い出して下さい。
(左図では、標準部品箱2ヶ)

■ 内容明細

名 称	数 量
段床妻ばり受金具	2
段床用笠木取付金具	1
六角ボルト M 8 × 16	4
M 8 用 ワッシャー	4
六角ナット M 8 用	4
ピラスビス $\phi 4 \times 13$ ナベ	2

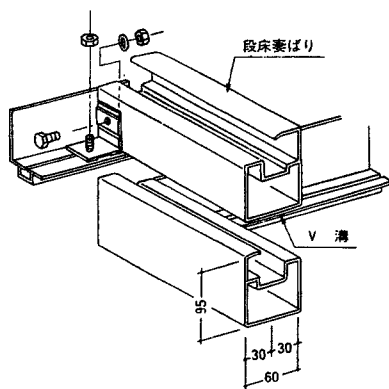
段床納まり取付順序

① 根太掛けの取付け



- ① 根太掛けは、一線が一直線になる様に取付けて下さい。
- ② 根太掛けの段差 h を測定して下さい。

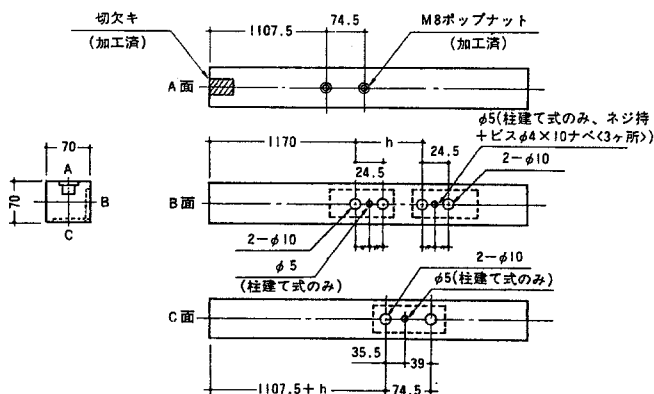
② 段床妻ばりの取付け



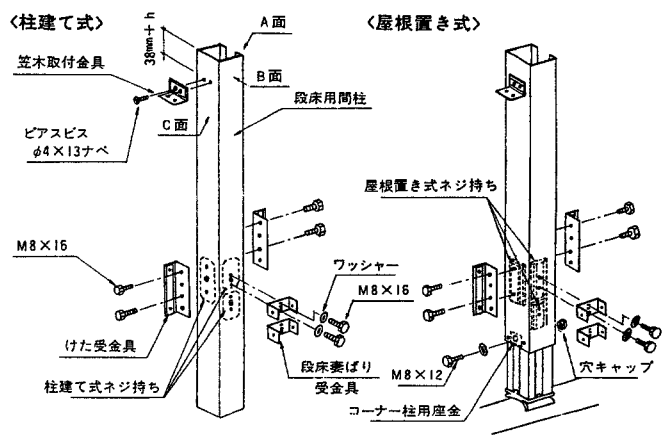
- ① 段床妻ばりは、下面に水抜穴 ($\phi 25$) があいている方を柱側とする。
- ② 段床妻ばりに根太掛け金具を取付けてから根太掛けに固定して下さい。
- ③ 段床妻ばりは、根太掛けに半分乗る様に取付けて下さい。(段床妻ばり下面のV溝に根太掛け端部を合わせて下さい。)

③ 柱の加工

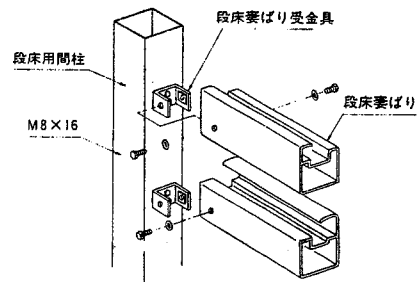
柱は、加工により、左右ができます。段差の高い方に、柱の切り欠いた面を向け下図の加工を行なって下さい。
(下図では外観視左が高床になっています)



④ 部品の取付け



⑤ 柱の組み立て



⑥ デッキ材の切りつめ

間口		使用デッキ材	(mm)		備考
			製作寸法	切詰め寸法	
1 間	関東	BD 10 ○ W (2000)	1840	160	
	関西	BD 15 ○ (2715)	2035	680	
	四九	BD 10 ○ W (2000)	1930	70	
1.5 間	関東	BD 15 ○ W (2955)	2750	205	
	関西	BD 20 ○ (3625)	2990	635	
2 間	関東	BD 20 ○ W (3910)	3660	250	
	関西	BD 25 ○ (4535)	3945	590	
	四九	BD 20 ○ W (3910)	3840	70	

○は、1～3の数字

⑦ デッキ材取付時は、段床妻ばりもピラスビス止めして下さい。

⑧ 以下は、標準工程に基づき行なって下さい。